

製品名: RNF4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86118**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	21.3kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF4
別名	E3 ubiquitin-protein ligase RNF4, 6.3.2.-, RING finger protein 4, Small nuclear ring finger protein, Protein SNURF, RNF4, SNURF
遺伝子 ID	6047.0
SwissProt ID	P78317
免疫原	この RNF4 抗体は、ヒト RNF4 のヒト領域からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

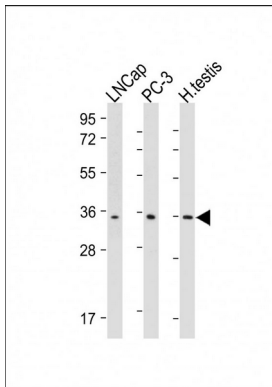
背景

E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼは、タンパク質に共有結合したポリスモイル化鎖に結合し、これらの基質の「Lys-6」、「Lys-11」、「Lys-48」および「Lys-63」結合ポリユビキチン化を媒介し、その後プロテアソームによる分解へと誘導します。PMLや転写活性化因子PEA3を含む複数のタンパク質の分解を制御します。染色体整列および紡錘体形成に関与し、ポリスモイル化CENPIをプロテアソームによる分解へと誘導することで、キネトコアCENPH-CENPI-CENPK複合体を制御します。EPAS1およびPARP1の分解を介して、低酸素および熱ショックに対する細胞応答を制御します。あるいは、DNA/ヌクレオソームに結合し、基礎転写やステロイド受容体を介した転写活性化の促進など、転写の調節においてより直接的な役割を果たす可能性もあります。

研究分野

-

画像データ



全レーン：抗 RNF4 抗体 (1:2000 希釈)